

令和4年度

香芝市の教育に関する事務の
管理及び執行の点検及び評価報告書

(令和3年度対象)

令和4年11月

香芝市教育委員会

目 次

はじめに	1
1. 施策の点検・評価	
（1）令和3年度点検・評価事業一覧	2
（2）点数・自動判定について	3
（3）令和3年度 行政評価 進捗管理シート	5
（4）評価指標シート	10
（5）令和3年度 行政評価 3視点評価シート	12
2. 資料	
（1）教育委員会の概要	17
（2）会議の開催状況	18
（3）教育委員会会議以外の活動状況	20
（4）児童・生徒・園児数一覧	21

はじめに

『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』により、教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、令和3年度に実施した事業のうち、主な事業について、教育に関する学識経験者の知見を活用しながら点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

香芝市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(昭和31年法律第162号)(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 施策の点検・評価

(1) 令和3年度点検・評価事業一覧

第5次香芝市総合計画			事務事業名	所管課
政策名	施策名	主な取り組み		
1. 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	【P5】 3. 就学前教育・保育の充実	就学前教育・保育の推進	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	こども課
			特別保育等補助事業	こども課
		就学前教育・保育環境の整備	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	教育総務課
	【P6】 4. 学校教育の充実	学びの推進・支援	学力向上推進事業	学校支援室
			教育相談支援事業	学校支援室
		安心して学べる教育環境の整備	小学校施設維持管理事業	教育総務課
			中学校施設維持管理事業	教育総務課
	【P7】 5. 家庭・地域・学校の連携	地域ぐるみの子どもの支援	学校・地域パートナーシップ事業	生涯学習課
		青少年の健やかな育成	青少年体験交流推進事業	生涯学習課
			青少年健全育成事業	生涯学習課
	【P8】 15. 生涯学習とスポーツ活動の充実	生涯学習機会の充実	生涯学習機会提供事業	生涯学習課
		スポーツ活動の充実	スポーツ活動支援事業	生涯学習課
		図書館機能の充実	資料情報提供事業	生涯学習課
			読書普及活動事業	生涯学習課
	【P9】 16. 歴史文化財の保存と継承・展開	二上山博物館機能の充実	博物館活性化事業	生涯学習課
		文化財の保護・啓発	文化財保護啓発事業	生涯学習課

(参考) 【総合評価の算出方法】

必要性、有効性、効率性の3視点評価を今年度評価点数(100点満点)に換算し、その値の合計点数(100点満点)を5段階(A~E)で評価する。

◆項目別の点数割合

項目	点数(最大)	選択肢毎の点数	点数
必要性	100点(平均)	あてはまる(あてはまらない)	20
有効性		ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
効率性		ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
		あてはまらない(あてはまる)	0

【参考】【自動判定結果について】

「②3 視点評価シート」の結果を、以下表に照合して自動判定を行っています。

表に記載している「成果とコストの方向性」、「現在の事業の状態」、「方向性の考え方の例」を参考として、事業の進捗や施策マネジメントの見地から、「今後の方向性」を判断しています。

		点数			現在の事業の状態	「成果」と「コスト」の方向性	方向性の考え方の例
		必要性	有効性	効率性			
1	有効性（のみ）が低い	75~100	0~35	75~100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>全然</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	費用対効果がいいのだから、よりコストをかけて、成果をあげる。
		52~74	0~35	52~74			
		75~100	0~35	52~74			
2	有効性（のみ）がやや低い	52~74	0~35	75~100	市が行うべき事業で、事業効率も高いが、成果が <u>あまり</u> でない。	成果→拡充 コスト→拡大or現状維持	生産性をあげる工夫をする。
		75~100	36~51	75~100			
		52~74	36~51	52~74			
3	有効性と効率性が「低い」 有効性がやや低く、効率性が低い 有効性が低く、効率性がやや低い 有効性と効率性が「やや低い」	75~100	0~35	0~35	市が行うべき事業であるが、成果がでておらず、また事業効率も悪い。	成果→拡充 コスト→縮小	民間連携や協働化等によって、事業効果と事業効率をあげる。
		52~74	0~35	0~35			
		75~100	36~51	0~35			
		52~74	36~51	0~35			
		75~100	36~51	36~51			
4	3視点とも「高い」か「やや高い」	75~100	75~100	75~100	現状で費用対効果が高く、成果も出ている。	成果→現状維持 コスト→現状維持	現状維持（改善が出尽くしている）
		75~100	75~100	52~74			
		75~100	52~74	75~100			
		75~100	52~74	52~74			
		52~74	75~100	52~74			
		52~74	52~74	75~100			
		52~74	52~74	52~74			
5	効率性（のみ）が低い	75~100	75~100	0~35	費用対効果が高く、成果もでていますが、コストがかかりすぎている。	成果→現状維持 コスト→縮小	効率性をあげて、コスト削減していく。
		75~100	52~74	0~35			
		52~74	75~100	0~35			
	効率性（のみ）がやや低い	75~100	75~100	36~51	費用対効果が高く、成果もでていますが、若干コストがかかりすぎている。	成果→現状維持 コスト→縮小	効率性をあげて、コスト削減していく。
		75~100	52~74	36~51			
6	必要性と有効性が低い 必要性がやや低く、有効性が低い 必要性が低く、有効性がやや低い 必要性と有効性がやや低い	0~35	0~35	75~100	費用対効果は高いが、市が必ずしも実施する必要のない事業で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小	段階的に事業から撤退していく。
		0~35	0~35	52~74			
		36~51	0~35	75~100			
		36~51	0~35	52~74			
7	3視点とも「低い」か「やや低い」	0~35	0~35	0~35	市が必ずしも実施する必要のない事業で、成果もでない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0~35	0~35	36~51			
		36~51	0~35	0~35			
		36~51	0~35	36~51			
		0~35	36~51	0~35			
		0~35	36~51	36~51			
		36~51	36~51	0~35			
8	必要性（のみ）が低い	0~35	75~100	75~100	成果がでており事業効率もよいが、市が必ずしも実施すべき事業ではない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0~35	75~100	52~74			
		0~35	52~74	75~100			
	必要性（のみ）がやや低い	36~51	75~100	75~100			
		36~51	75~100	52~74			
		36~51	52~74	75~100			
		36~51	52~74	52~74			
	必要性と効率性が低い 必要性がやや低く、効率性が低い 必要性が低く、効率性がやや低い 必要性と効率性がやや低い	0~35	75~100	0~35	成果はできているが、市が必ずしも実施すべき事業ではない。	成果→縮小 コスト→縮小 or 休廃止	廃止または民営化する。
		0~35	52~74	0~35			
		36~51	75~100	0~35			
36~51		52~74	0~35				
0~35		75~100	36~51				

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	3 就学前教育・保育の充実

★ 目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。



■ 施策の主な取り組み

① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子ども数の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定こども園化による保育利用率の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児との交流等、地域の子育てをサポートする事業を実施します。	●
①-2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対して補助を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管	
				R6	R10	R14	(R2)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)		目標達成度 (R6年度比)
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚生労働省の要領による)	0	0	0	0	0	-	0	100.0%	100.0%	教育部 こども課	
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/幼稚園型)の数	46	49	51	51	47	48	-	48	100.0%	98.0%	教育部 こども課
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数(累計)	9	11	12	13	9	9	-	9	100.0%	81.8%	教育部 こども課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心・快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	子ども数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管	
				R6	R10	R14	(R2)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)		目標達成度 (R6年度比)
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	3	5	5	0	1	0	1	100.0%	33.3%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業						【実績】 ・鎌田小学校区における小規模保育所の公募に際して、鎌田幼稚園において保護者説明会を実施し、小規模保育所創設に向けて準備を進めた。 ・真美ヶ丘東幼稚園において保護者説明会を実施し、令和4年度こども園化に向けて準備を進めた。 【課題】 ・香芝市公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針を策定した令和元7月以降、状況が大きく変わってきている地域・施設がある。
①-2	特別保育等補助事業	【実績】 ・鎌田小学校区において小規模保育所を公募し、令和4年度開園に向けて創設にかかる補助を行った。 ・令和3年度はいるは保育園で病児保育事業(体調不良児対応型)を開始。保育サービスの充実につなげた。 【課題】 ・施設の老朽化が進む私立の保育施設への補助にかかる財源の確保が課題である。	A	90 100 80	現状維持 拡大	令和4年度に民間認定こども園の大規模修繕を予定しているため、コストの方向性を拡大とした。	教育部 こども課
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	【実績】 ・真美ヶ丘東幼稚園の認定こども園化改修工事、鎌田幼稚園の駐車場改修工事及び遊具設置工事、認定こども園下田幼稚園児童用トイレ新設工事予定とおりは今年度で完了した。 ・各幼稚園・保育所・認定こども園施設改修工事については4件実施した。 【課題】 ・今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行うかが課題である。	B	90 85 82	現状維持 現状維持	老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。 (いずれも、工事の規模によりコストは増大するが施設整備の方向性には変わりはない)	教育部 教育総務課

■ 施策の方向性(改善策)

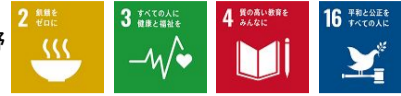
次年度の方向性	改善策
	・新たに1園を認定こども園化予定。 ・新たに小規模保育所を1園開園予定。 ・新たに2園で延長保育事業開始予定。 ・新たに2園で病児保育事業開始予定。 ・長寿命化計画に沿って各施設の適切な維持管理を継続していく。

担当課評価		成果の方向性				コストの方向性			
A	2 事業	拡充	事業	拡大	1 事業	現状維持	3 事業	現状維持	2 事業
B	1 事業	現状維持	3 事業	現状維持	2 事業	縮小	事業	縮小	事業
C	0 事業	休止	事業	休止	事業	休止	事業	休止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★ 目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動・外国語教育・道徳教育・体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0

全国学力・学習状況調査の中止

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
-	84.1	79	79	94.4%	94.1%	教育部 学校支援室
-	62.5	57	57	90.4%	88.3%	教育部 学校支援室
-	65.5	64	64	97.6%	95.4%	教育部 学校支援室
69	72	-	86	119.9%	141.5%	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②-2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)/改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	教育部 教育総務課
50.9	54.4	51	54.5	100.2%	79.7%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	学力向上推進事業 ・学校支援室によるアドバイザー訪問の実施 ・若手教員支援プログラムによる教科指導力、生徒指導力等の充実 ・外国語指導助手による英語教育 ・学校図書館の整備及び児童生徒の読書習慣の確立				【実績】 ・アドバイザー訪問として3小1中を訪れ、学校運営や学力向上に関する助言を行った。 ・外国語指導助手の派遣は予定通り実施した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、若手教員支援については、当初の予定ほどは開催できなかった。	B		85
		72						
		74						
①-2	教育相談支援事業 ・いじめ不登校等対応委員会の開催 ・就学相談及び就学指導委員会の実施 ・スクールカウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を対象とした支援スタッフの派遣	【実績】 ・計画していた事業は、全て予定通りに実施した。 【課題】 ・さまざまな問題を抱えている児童生徒やその保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当増を図ってゆく。	A	100	拡充	【成果の方向性】 いじめの事業も、今後も継続していく必要がある。さまざまな問題を抱えている児童生徒やその保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当増を図ってゆく。 【コストの方向性】 相談は増加傾向にあり、カウンセリングの受入れは制限している状況である。一層の予算措置が必要である。	教育部 学校支援室	
				85				
				87				拡大
②-1	小学校施設維持管理事業 ・間接小学校中規模改修工事設計 ・三和小学校公共下水道接続工事 ・五位堂小学校外部トイレ・体育館トイレ洋式化改修工事(前年度繰越事業) ・各小学校改修工事等	【実績】 ・間接小学校中規模改修工事設計、五位堂小学校外部トイレ・体育館トイレ洋式化改修工事(前年度繰越事業)は今年度で完了した。 ・各小学校改修工事については11件、通学路標識1件の工事を実施した。 【課題】 ・今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行っていくかが課題である	B	90	現状維持	・個別計画を更新しながら、長寿命化改修等を実施していく。 ・計画に沿ってトイレの洋式化を進める。 ・改修工事は必要に応じて随時実施する。 (いずれも、工事の規模によりコストは増大するが施設整備の方向性に変わりはない)	教育部 教育総務課	
				85				
				74				現状維持
②-2	中学校施設維持管理事業 ・香芝中学校トイレ改修工事 ・香芝中学校受電設備改修工事 ・香芝北中学校体育館トイレ改修工事(前年度繰越事業) ・各中学校改修工事等	【実績】 ・香芝中学校トイレ改修工事について設計が完了し、令和5年度～6年度に工事を実施予定。香芝中学校受電設備改修工事及び香芝北中学校体育館トイレ改修工事は完了した。 【課題】 ・今後、施設の長寿命化改修工事を実施していく予定であるが多くの施設が老朽化し多額の費用がかかる見通しであり、費用負担の軽減をどのように行っていくかが課題である	B	90	現状維持	・個別計画を更新しながら、長寿命化改修等を実施していく。 ・計画に沿ってトイレの洋式化を進める。 ・改修工事は必要に応じて随時実施する。 (いずれも、工事の規模によりコストは増大するが施設整備の方向性に変わりはない)	教育部 教育総務課	
				85				
				74				現状維持

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
	・学力向上推進事業のうち若手教員支援プログラムについては、オンラインの活用も含め、支援方法の改善を図る。 ・学力向上推進事業のうち学校図書館は、国基準標準冊数に対する達成率の少ない学校を重点的に整備する。 ・教育相談支援事業については、本年度の内容を継続しつつ、カウンセリング機会を増やす。 ・長寿命化計画に沿って各施設の適切な維持管理を継続していく。

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	拡充	1 事業	拡大	1 事業
B	3 事業	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休止	事業	休止	事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	5 家庭・地域・学校の連携

★ 目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいきいきと活動している。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組めます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	既存の地域力を集約し、学校支援につなげる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	●
①-2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充を図ります。	●
①-3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000	
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0	

前年度実績値 (R2)	目標値	中間値 (9月末)	今年度の進捗			担当所管
			実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
33,284	35,700	—	32,000	89.6%	88.9%	教育部 生涯学習課
9	0	—	0	100.0%	100.0%	教育部 こども課

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	青少年体験交流推進事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座等を開催します。	●
②-2	青少年健全育成事業	下校巡視や市内一斉巡視、店舗等の立ち入り調査を行い、非行の早期発見や犯罪に開くことを未然に防ぐとともに、「少年の主張」作文コンクールを開催やさまざまな媒体を使った広報啓発活動を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			
				R6	R10	R14	
青少年交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500	
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数/対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86	

前年度実績値 (R2)	目標値	中間値 (9月末)	今年度の進捗			担当所管
			実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
0	2,400	0	0	0.0%	0.0%	教育部 生涯学習課
74.9	84	91	91	108.0%	108.0%	教育部 生涯学習課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 評価 (必要性/有効性/効率性)	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	【実績】 ・コミュニティ・スクール化によるコミュニティ協議会と学校運営協議会の連携等、地域住民等が教育活動に参画するための環境整備は進んでいるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自体は中止・制限を余儀なくされている。 ・学校と地域住民等の連携を強化する仕組みとして「地域学校協働活動推進員設置要綱」を新規で制定、体制を強化した。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室や地域未来塾等の児童・生徒と直接に接する活動については制限を受けたため、指標の達成状況は低かった。 ・地域コーディネーターに求められる役割が複雑化しており、適任者の育成が課題となっている。	B	74 61 70	拡充 拡大	【成果の方向性】 地域・学校により課題がさまざま、その地域により形が違ってくるから、有効性(全体の目標達成度・実現に向けての進捗状況等)を図ることは困難であるが、要綱の制定や仕組みを改善すること、学校と地域の両方で子どもを育て、地域住民・学校双方が充足感を持てるよう事業を行っている。 【コストの方向性】 地域コーディネーター業務は、多様化する学校の事情や子どもの健全育成の視点から、業務量が増大していることから、拡大を検討している。	教育部 生涯学習課	
①-2	学童保育運営事業	【実績】 ・令和4年度以降の指定管理者を選定するため、指定管理者選定委員会を実施した結果、引き継ぎシブタックス大新報ニューマンサービス株式会社に決定した。 ・利用児童の多い下田、五位堂学童については地域の公民館や民間施設を活用し入所定員枠の拡充を図った。 【課題】 ・児童数の増加が見込まれる学童保育所における量及び質の確保。	A	80 100 87	拡充 拡大	・令和4年度に公立学童保育所の環境改善事業及び民間学童保育所の創設を予定しているため、成果・コストの方向性を拡充・拡大とした。	教育部 こども課	
①-3	学童保育所施設維持管理事業	【実績】 ・各学童保育所の施設修繕を実施した。 【課題】 ・各学童保育所の施設が老朽化しており、修繕や工事にかかるコストが増加する傾向にあるので費用負担の軽減をどのように行うかが課題である。	B	85 85 95	現状維持 現状維持	・学童保育所の効率的な維持管理を行う。(いずれも、工事の規模によりコストは増大するが施設整備の方向性に変わりはない)	教育部 教育総務課	
②-1	青少年体験交流推進事業	【実績】 ・子どもフェスティバルは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあいフェスティバルの動向も踏まえて中止した。 ・青少年指導員協議会の体験学習についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた3回全てを中止した。 【課題】 ・人と人が触れ合い交流する体験の場を提供する事業は、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、実施が困難な状況に代替となる方法として、オンラインの活用等を検討していくことも必要である。	C	70 67 90	拡充 現状維持	【成果の方向性】 青少年体験交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず実施を見合わせているが、定員に対する応募数や問い合わせ等から一定の市民ニーズがあり、様々な状況に対応しながら機会創出に努める。 【コストの方向性】 現状の範囲で事業を検討する	教育部 生涯学習課	
②-2	青少年健全育成事業	【実績】 ・青少年健全育成協議会の会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、可能なものは書面による会議としたが、委員同士の協議が必要なものは開催を中止した。合同研修会については、オンライン配信とすることで委員に講演を届けられた。 ・巡視については、夏冬の夜間特別巡視、県・県警合同立入調査を人数・巡視場所を絞って効果的に実施した。 ・「少年の主張」作文コンクールは実施したが、市民集会は中止し、表彰式のみ開催した。集会の代替として、表彰式の模様を広報紙に掲載するとともに、優秀作文冊子を委員に配布し、啓発に努めた。 ・環境浄化(美化奉仕)活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 【課題】 ・定例巡視については、その協議を行う専門委員会の開催が難しく、実施できなかった。対面の会議に代わる協議方法等、検討が必要である。	B	85 85 77	拡充 現状維持	【成果の方向性】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止が多かったが、オンラインの活用等で代替したものもあり、啓発活動等の今後の一層の継続と充実を図る。 【コストの方向性】 現状の範囲で事業を検討する	教育部 生涯学習課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	改善策
	・施設・設備の環境整備(AEDの設置、支援単位の小規模化)を予定。 ・民間学童保育所の創設を予定。 ・感染症対策を徹底しながら、オンラインの活用等、事業の目的を達成できるよう模索していく。 ・地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の発掘、育成を強化し、地域と学校に学校地域パートナーシップ事業の目的を周知していく。 ・各施設の適切な維持管理を継続していく。

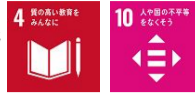
担当課評価	
A	1 事業
B	3 事業
C	1 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	4 事業	拡大	2 事業
現状維持	1 事業	現状維持	3 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講座等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
24.6	35	20	21	60.0%	教育部 生涯学習課
29,169	40,000	10,888	20,000	50.0%	教育部 生涯学習課

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
40.7	49	55	55	111.8%	教育部 生涯学習課
94,322	190,000	100,168	203,604	107.2%	教育部 生涯学習課

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館「ぶっくる号」の巡回により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館ではおはなし会や読み聞かせ会を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

前年度実績値 (R2)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
1.35	1.4	1	1.6	114.3%	教育部 市民図書館
-	153,000	101,467	187,100	122.3%	教育部 市民図書館

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管	
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性		
①-1	生涯学習機会提供事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の活動としては、年度3回の会議のうち2回を画面にて、1回を対面にて実施し、社会教育事業と第3次生涯学習推進基本計画の策定に向けて審議いただいた。 近畿、県の研修会等はオンライン配信により委員に参加いただいた。 市民がつくる生涯学習講座については、20講座、全38回、計331名参加。市民が講師となり、講座を実施することができた。 美術展については、計135品の出品、計498名の来場者数であった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭学習・社会教育委員の活動が年々縮小されている。各種団体の担い手の育成ができていないことから、今後の担い手の不足が懸念される。 市民がつくる生涯学習講座について、今後の実施方法・形態などを検討する必要あり。募集方法について、年度当初一括募集していたが、後期の講座ほど申込者が少なかったため、学期ごとに募集するなど検討が必要である。 美術展については、年々出品数、来場者数も減少傾向にあることから、開催方法や周知方法などを検討する必要がある。 	B	67	現状維持	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、事業の縮小を余儀なくされている事業もあるが、引き続き生涯学習機会の提供に資する事業を継続して行う。 【コストの方向性】 現状の範囲で事業を検討する 	教育部 生涯学習課
②-1	スポーツ活動支援事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村対抗子ども駅伝の予選会の実施 当該駅伝大会の選考会である市マラソン大会が中止となる中、市内各小学校において代表選出するなど、従来とは異なる手段で選考会を実施することで、コロナ化にあっても、子どもへのイベント参加を促すことができた。 ニュースポーツデーについては新型コロナウイルス拡大防止のため、やむをえず中止とした。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ活動については、オンラインでの実施が難しく、代替案での実施が難しい。その中でもスポーツ活動を支援する取り組みを検討していかなければならない。 	B	72	拡充	<p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむをえず中止しているものもあるが、引き続き市民のスポーツを行う機会の創出を図っていく。 【コストの方向性】 現状の範囲で事業を検討する 	教育部 生涯学習課
③-1	資料情報提供事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月より高齢者福祉施設等への巡回文庫を開始し、巡回先の拡充を図った。 4月に市立小中学校の全児童生徒を対象に電子図書館の利用者IDとパスワードを発行した。その結果、貸出冊数が前年度よりも増加した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子図書館において、一般利用者の登録者数を増やすことと学校利用者の利用率の向上。 図書館よりも遠隔地に居住し、かつ、高速で安定したインターネット環境をお持ちでない市民への資料提供体制の整備。 	B	75	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 学校や福祉施設等と連携して、各施設巡回による出張貸出や配本等を行い、必要な所へ必要な資料を効果的に届け、身近に読書ができる環境を整備する。 情報収集等における電子書籍の利用とインターネット検索の併用等、新たな利用方法の周知等での向上を図る。 電子図書館を図書館サービスの柱の1つとして定着及び発展させる。 上記の実施のため、蔵書更新やコンテンツ拡充を図り、新鮮な資料が提供できる環境を整える。 ICタグや自動貸出機・返却機等の導入によりカウンター業務等の効率化が期待できるが、その初期導入費や維持費、ふたかみ文化センター長寿命化改修工事のタイミング等を考慮すると慎重な検討を要する。 	教育部 市民図書館
③-2	読書普及活動事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校等関係機関との連携では、市立幼稚園・こども園全園で見学の際に読み聞かせを、小学校2校でオンライン図書館見学を実施。また、個人の来館者向けには、絵本パックの貸出や本の福袋を実施。読書へのアプローチから興味・関心を高める工夫を行った。 新規に香芝高校と連携し、図書委員会の生徒が選んだ本を展示した「高校生の本棚」等を展開した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校でのブックトーク・おはなし会は、状況によって実施が困難。安定した事業展開のためにもオンラインでの実施検討が必要。 図書館の講座等については、従来よりも定員を減らしており、オンラインでの開催や動画配信等の検討が必要。 	A	67	現状維持	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校等との連携やボランティアとの協力により、ブックトーク(本の紹介)・おはなし会等の実施を通して、読書活動の充実を図ることで、子どもの読書活動への関心を高め、読解力等の向上に繋げる。 講義と関連資料の展示等を通して、市民の学びを支援する。 withコロナ・アフターコロナに対応して、オンラインの活用やホームページ・展示の充実、個別で楽しめるイベントの実施等を検討する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以前より参加者数の上限を少なく設定しているため、これ以上の拡充は困難であり、また、既に謝礼が無償又は低額の講師に依頼したり、職員やボランティアで運営したりしているため、更なるコスト削減も困難である。 	教育部 市民図書館

■ 施策の方向性(改善策)

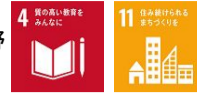
次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でできること、できないことを考え、事業を検討していく。 美術展にや生涯学習講座については、周知方法や開催方法を検討し、より多くの方が参加しやすい方法を検討していく。 図書館機能の充実については、市民図書館より遠隔地に居住されている市民への資料提供体制の整備と各種事業におけるオンラインの活用検討、市民参加型事業の実施等による図書館の来館利用の促進、電子図書館の更なる利用の促進。
---------	---

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	1 事業	拡充	2 事業	拡充	事業
B	3 事業	現状維持	2 事業	現状維持	4 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休止	事業	休止	事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

★ 目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持っている。



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	文化財等の調査研究を推進し、博物館の展示を充実させるとともに、イベント・講座・展示会等を開催します。また、小学校・中学校と連携した取り組みとして、地元について知る、郷土愛を育てる学習を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900

前年度実績値	(R2)	今年度の進捗				担当所管
		目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	
4,196	5,500	2,950	6,400	116.4%	80.0%	教育部生涯学習課
177	200	214	636	318.0%	79.5%	教育部生涯学習課

コロナ禍による影響およびR2実績をふまえ、平常時より低く設定

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

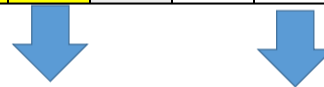
指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺廃寺跡史跡公園・史跡平野塚穴山古墳史跡公園の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

前年度実績値	(R2)	今年度の進捗				担当所管
		目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	
44	44	44	44	100.0%	102.3%	教育部生涯学習課
1,435	1,500	705	1,147	76.5%	71.7%	教育部生涯学習課

R2で増加した2件：
狐井城山古墳・狐井稲荷古墳

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	博物館活性化事業				【実績】来館者アンケートに基づき、考古学以外の中・近世(戦国時代)をテーマとする地域学習講座も開設したところ、企画展では、延べ2,768人、講演会や講座では1,074人の利用者を集めるなどコロナ禍による制限化の中でも多くの利用者があった。 【課題】コロナ禍により、博学連携による小・中学校からの団体利用者が減少している。今年度から市内各小学校に配布されている情報端末機器を使ったオンライン博物館の実施を始めたが、限られた授業の中でどのようにして調整・連携を図っていくかが今後の課題である。	A		80 80 70
②-1	文化財保護啓発事業	【実績】毎月1回、12月末までに計9回、文化財保護指導委員による文化財の現況確認を実施した。その結果、文化財の破損や盗難等の被害は無かった。併せて実施した遺跡の巡視でも無届の民間開発による遺跡の破壊を防ぐことができた。 【課題】コロナ禍により、尼寺廃寺跡史跡公園や平野塚穴山古墳史跡公園を活用した事業を積極的に展開することができなかった。今年度は、旅行観光会社からの古墳巡りの観光ルートの策定や奈良ソムリエの会による両史跡公園をルートに含めた観光ルートの策定があり、葛城修験日本遺産の周遊ルートと併せて、今後、如何にしてこれらの団体と連携して利用者の誘致と受け入れ態勢の充実を図っていくかが大きな課題である。	A	80 80 70	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 文化財保護審議会、史跡整備検討委員会を開催し、文化財保護やその提供に資する事業を継続して行う。 【コストの方向性】 現状の範囲で事業を検討する	教育部生涯学習課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な分野の企画展示や市民の歴史講座を開催し、これまで博物館になじみのなかった人々にも利用してもらえるように取り組んでいく。 文化財保護巡視員とも連携し、市内に所在する指定文化財について劣化や破損などの点検を強化し、文化財保護に努めていく。 埋蔵文化財関連業務の円滑な遂行に引き続き取り組んでいく。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	事業
現状維持	1 事業	現状維持	2 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

令和3年度 行政評価 3視点評価シート

施策名	3 就学前教育・保育の充実
-----	---------------

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	①-2	②-1				
				保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	特別保育等補助事業	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズに対応できている。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		あてはまる	あてはまらない	あてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の進め方や内容の工夫によって、成果を向上させることができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまる	ややあてはまる				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先へ委託等により、コストが削減できる。		ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、制度はあるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	①-2	②-1					
必要性の点数	70	90	90	0	0	0	0	0
有効性の点数	100	100	85	0	0	0	0	0
効率性の点数	69	80	82	0	0	0	0	0

令和3年度 行政評価 3視点評価シート

施策名	4 学校教育の充実
-----	-----------

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	①-2	②-1	②-2				
				学力向上推進事業	教育相談支援事業	小学校施設維持管理事業	中学校施設維持管理事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズに対応できている。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	あてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の進め方や内容の工夫によって、成果を向上させることができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先へ委託等により、コストが削減できる。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、制度はあるが、利用できていない。		ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	①-2	②-1	②-2				
必要性の点数	85	100	90	90	0	0	0	0
有効性の点数	72	85	85	85	0	0	0	0
効率性の点数	74	87	74	74	0	0	0	0

令和3年度 行政評価 3視点評価シート

施策名	5 家庭・地域・学校の連携
-----	---------------

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2			
				学校・地域パートナーシップ事業	学童保育運営事業	学童保育所施設維持管理事業	青少年体験交流事業	青少年健全育成事業			
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズに対応できている。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない			
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまる	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまる	あてはまる	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない			
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	あてはまる	ややあてはまらない			
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまる	あてはまる	あてはまらない	あてはまる			
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまらない	あてはまる	あてはまる	あてはまる	ややあてはまる			
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる			
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		あてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまる	あてはまる			
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまらない	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまる			
事業の効率性	生産性	事業の進め方や内容の工夫によって、成果を向上させることができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる			
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先へ委託等により、コストが削減できる。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない			
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない			
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない			
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、制度はあるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまらない			

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2			
必要性の点数	74	80	85	70	85	0	0	0
有効性の点数	61	100	85	67	85	0	0	0
効率性の点数	70	87	95	90	77	0	0	0

令和3年度 行政評価 3視点評価シート

施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実
-----	-------------------

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	②-1	③-1	③-2				
				生涯学習機会提供事業	スポーツ活動支援事業	資料情報提供事業	読書普及活動事業				
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズに対応できている。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない				
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		ややあてはまる	ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる				
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	ややあてはまる	あてはまる	ややあてはまる				
事業の効率性	生産性	事業の進め方や内容の工夫によって、成果を向上させることができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまる				
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先へ委託等により、コストが削減できる。		あてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	あてはまらない				
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	ややあてはまらない				
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	ややあてはまる	ややあてはまる				
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、制度はあるが、利用できていない。		ややあてはまらない	ややあてはまらない	あてはまらない	あてはまらない				

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	②-1	③-1	③-2				
必要性の点数	67	72	75	67	0	0	0	0
有効性の点数	67	80	80	75	0	0	0	0
効率性の点数	72	67	61	69	0	0	0	0

令和3年度 行政評価 3視点評価シート

施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開
-----	-------------------

評価の視点	評価項目		回答方法補足	①-1	②-1						
				博物館活性化事業	文化財保護啓発事業						
事業の必要性	需要度	当該事業に対する住民ニーズは低い、もしくはニーズに対応できている。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまる	あてはまる						
	量的適正性	成果の精度やサービスの供給量が、必要とされる範囲を超過している。		あてはまらない	あてはまらない						
	影響度	事務事業を取り止めた場合でも、住民の生活や市政の満足度に影響はない。		あてはまらない	あてはまらない						
	主体性	必ずしも市が実施する必要がなく、国・県・民間・他の部局等に類似した事務事業がある。		あてはまらない	あてはまらない						
	緊急性	現状、市の課題や問題になっているわけではなく、緊急性が高い事業ではない。		あてはまらない	あてはまらない						
事業の有効性	達成度(単年)	評価指標の単年度目標は達成できる見込みである。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	ややあてはまる	ややあてはまる						
	達成度(長期)	評価指標の最終目標(R6目標値)は達成できる見込みである。		あてはまる	あてはまる						
	質的向上	数値化できない効果も含み、住民サービスの質的向上が見られる。		ややあてはまる	ややあてはまる						
	施策貢献度	事業の成果が総合計画の施策の目的達成に貢献している。		ややあてはまる	ややあてはまる						
	実現性	事業の将来的な理想形や目標とする姿があり、実現に向けて順調に進捗している。		ややあてはまる	ややあてはまる						
事業の効率性	生産性	事業の進め方や内容の工夫によって、成果を向上させることができる。	「あてはまる」から「あてはまらない」のいずれかをプルダウン選択	あてはまる	あてはまる						
	コスト効率(事業費)	新たに民間委託や他の委託先へ委託等により、コストが削減できる。		ややあてはまらない	ややあてはまらない						
	コスト効率(人件費)	契約や人員の見直し等により、人件費の縮減が可能である。		あてはまらない	あてはまらない						
	事務効率性	システム導入等の電子化によって、事務効率の向上及びコスト削減の余地がある。		ややあてはまらない	ややあてはまらない						
	コスト意識	国や県、その他公的組織の事業費補助等について、特に情報収集を行っていない。または、制度はあるが、利用できていない。		あてはまらない	あてはまらない						

選択肢(各視点ごとに5項目)	配点
あてはまる(あてはまらない)	20
ややあてはまる(ややあてはまらない)	15
ややあてはまらない(ややあてはまる)	7
あてはまらない(あてはまる)	0



▼自動計算(各100点満点)

	①-1	②-1							
必要性の点数	80	80	0	0	0	0	0	0	0
有効性の点数	80	80	0	0	0	0	0	0	0
効率性の点数	70	70	0	0	0	0	0	0	0

※評価・点検の方法

- ① 主な取組み事項ごとの点検評価シートにより自己点検及び自己評価を行った。
- ② 点検及び評価は、前年の事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとする。
- ③ 事業の進捗状況を取りまとめ、評価の客観性を確保する観点から、知見者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行った。

2. 点検・評価シートに関する知見者の意見

令和3年度の香芝市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価に関して資料を拝見し、説明を受けた。市としての施策評価シートや事務事業評価シートに基づく総合評価が行われたので、その説明も受けた上で、評価を行った。

○就学前教育・保育の充実

「香芝市公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針」については、計画を策定した令和元年7月から状況が変わり、見直しが必要となった箇所があった。具体的には、三和小学区に関して、児童数の減少を見込んでいた計画であったが、複数の開発が行われた結果、当初想定と異なり、増加傾向となったものである。

香芝市全体の児童数としては毎年100人前後、減少している傾向にある。その中で幼稚園の入園希望者数は大きく減少している。一方、就労しながらの預かり保育を希望する保護者が増加していることから、保育所のニーズ自体は上昇傾向にある。

新しい住宅地の開発があると、そこに関わる業者との間で必要な施設等の設置について協議し、施設の建設費用について折半したり、補助金を活用したりといった方法もあると思う。今回の三和小学区の事例に関しては、それらに該当しなかったとのことだったが、今後、同じような事例があった場合に、市の費用負担が軽減されるような方法があれば検討してほしい。

○学校教育の充実

ICT利活用の推進に関して、学校の先生方は授業をし、教材研究なども行わなければならない中で、さらにコンピュータの利活用も身につけなければならない状況にある。やらなければならないことが多い中、本当に頑張っておられると思う。一方、教員による利活用の差が見られることもある。研修体制・支援体制を充実させる取組は、引き続き進めてほしい。

ただし、学校の先生方の本来の仕事は、子どもと向き合うことである。子どもたちも、ICT機器がたくさん普及する中、利活用が得意な子と苦手な子が出てくる。苦手な子どもたちが表に出てこられない、ということが無いように、子どもたちと対峙していく先生であってほしい。

教育相談支援事業に関し、コロナ禍が続いていく中で、これからも家庭的に不安定な子どもたちが出てくることが想定される。加えて、様々な悩みを持つ子どもたちもたくさんおり、カウンセラーの必要性は高まっている。一人ひとりのきめ細やかな声に応えられるよう、カウンセラーの充実を図ってほしい。

学校施設維持管理事業に関しては、就学前教育・保育と同じように、資材高騰の影響などが無視できない状況になっているほか、トイレ改修に関しても、子どもたちの学習環境の向上のために、引き続き尽力願いたい。

○家庭・地域・学校の連携

学校・地域パートナーシップ事業に関しては、コミュニティ協議会と学校運営協議会の連携等、地域全体で子どもたちを支えていく体制づくりが進められているのは良いことだと思う。一方、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）として手を挙げてくれる人が見つからず、空席があるという現状もある。資源を持っている人がいても都合がつかないということもあると思うので、マッチングがうまくいくよう引き続き調整をお願いしたい。子どもたちが地域で育っていく中で、地域の大人たちとどのように関わっていけるのかが重要であるので、充実をお願いしたい。

学童保育運営事業に関しては、余裕教室を活用した入所定員の拡充という、既にあるものを使っていくという取組は良い。場所探しなど様々な課題もあるかと思うが、引き続き充実をお願いしたい。

○生涯学習とスポーツ活動の充実

生涯学習機会の充実に関して、特に大人・高齢者にとっては自分の趣味など、自己実現の場として公民館・体育館がある。生涯学習という点でも、指定管理者と協力しながら、引き続き施設利用の充実を図ってほしい。

スポーツ事業に関して、奈良県下ではサッカークラブの奈良クラブがJ3に昇格したほか、プロバスケットボールチームのバンビシャス奈良が誕生するなど、市民の中でもスポーツに対する機運が高まっている。令和3年度に、バレーボールのプロチームが学校を訪問し、指導をしてくれたという事例があったように、子どもたちがプロスポーツへの興味を持ち、「見るスポーツ」から「するスポーツ」へと転換するような接点が増えるよう、今後も機会の充実をお願いしたい。

図書館サービスに関して、高齢者施設への巡回の取組はとても良く、今後も続けてほしい。また学校でのおはなし会、ブックトークは今後も拡充をお願いしたい。活字離れが顕著な時世ではあるが、特にコロナ禍で先行きの見通せない世の中でこそ、本は生きる糧となると思う。電子図書館の利活用も含めて、今後も普及活動を進めてほしい。

○歴史文化財の保存と継承・展開

近隣自治体や県、民間企業などと連携し、観光ルートの途中で市内の史跡などを取り入れ巡るといった仕組みはとても良い。また、保育所・幼稚園に通っている子どもたちが、図書館・博物館への訪問と合わせて、史跡へと興味をつなげていくという取組も好ましい。今後も、引き続き展開いただきたい。

博物館の利用に関して、コロナ禍で小中学校の団体利用が減少しているという現状もある中、日本各地の美術館・博物館は来訪者を集めるために様々な工夫を行っている。例えば、学芸員がコンダクターを務め、子どもたちを対象としたツアーを行ったり、展示物などを紹介するために、教材として使えるようなカードを作ったりといったものが挙げられる。美術館や博物館が学校現場へどのように出ていくか、多くの施設が熱心に取り組まれている背景を踏まえ、その普及に向けた活動を期待したい。

○総括

これからもコロナ禍が続いていくと想定される中で、子どもたち一人ひとりにそれぞれの悩みがあろうと思われる。一方で、マスク生活は続き、子どもたちの表情が分かりにくい状況は続く。学校の先生だけでなく、地域の人、教育委員会も力を合わせて、全体として子どもたちを育てていかなければならない。これから数十年後の社会を担うのは、今の子どもたちである。社会教育ももちろんであるが、未来を担う子どもたちを支え、教育がより良い方向へと進んでいくよう、教育委員会の中でも、また教育委員会外の関係機関や課との連携を、引き続きお願いしたい。

知見者名簿

畿央大学 教育学部 教授	西尾 正寛
香芝市社会教育委員会 議長	助定 雅章
香芝市PTA協議会 会長	松田 吉正

【知見者と教育委員会事務局職員との懇談会】



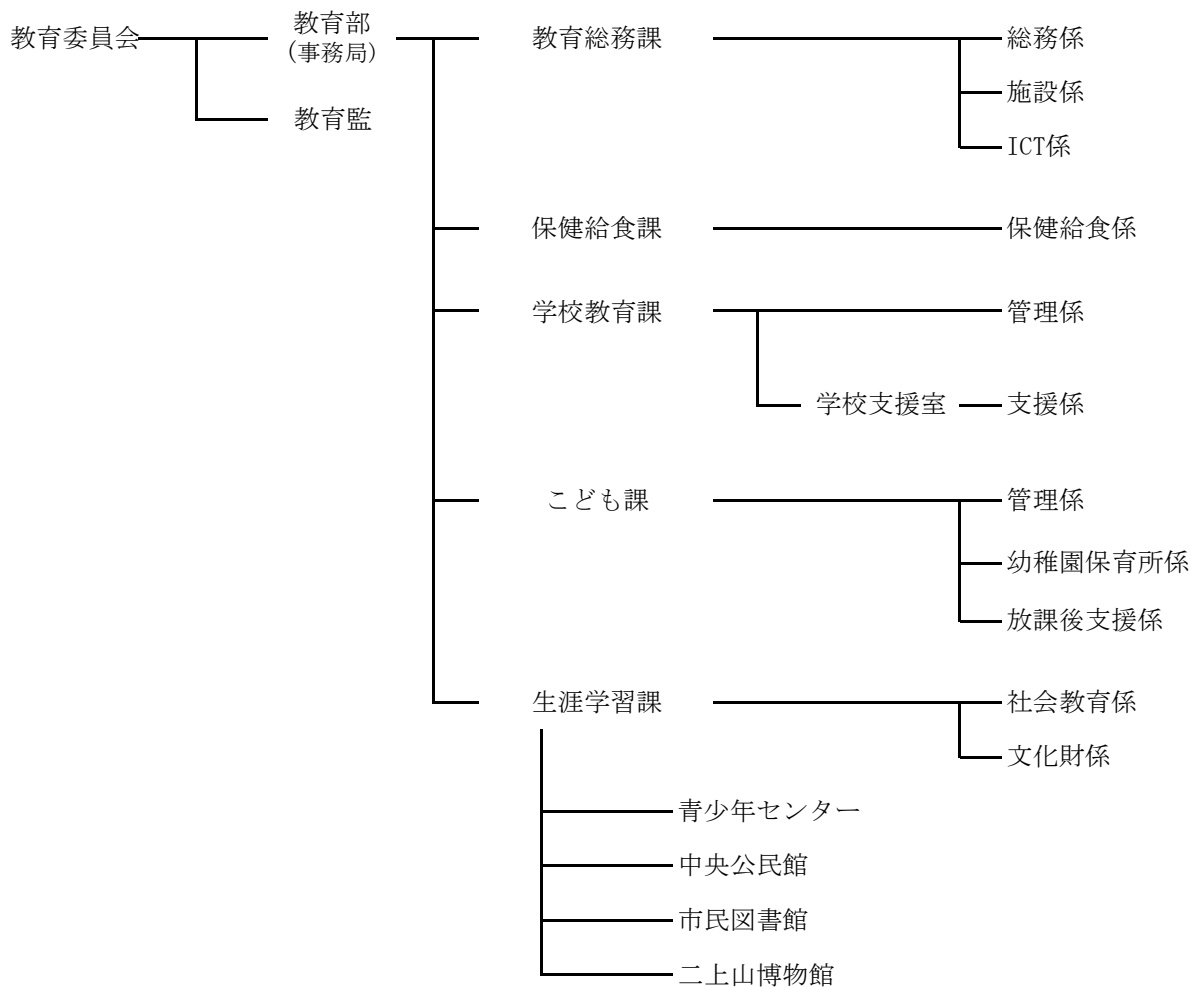
3. 資料

(1) 教育委員会の概要

・教育委員及び教育長

役職名	名前	任期
教育長	小西友吉	令和 3. 5. 1 ~ 令和 6. 4. 30
教育長職務代理者	田中貴治	平成27. 4. 1 ~ 令和 7. 9. 30
委員	三岡正美	令和 2. 10. 12 ~ 令和 6. 10. 11
委員	關野英明	平成30. 10. 1 ~ 令和 4. 9. 30
委員	山田綾子	令和 1. 10. 12 ~ 令和 5. 10. 11

・教育委員会組織図（令和3年度）



(2) 教育委員会会議開催状況

(令和3年4月～令和4年3月)

区分	開催月日	案件
4月臨時会	4月9日	請願書の提出について
4月定例会	4月28日	香芝市教育委員会事務局の職員の職の設置に関する規則の一部を改正することについての報告および承認について
		香芝市いじめ・不登校等対応委員会委員の委嘱および任命に関する報告ならびに承認について
		香芝市学校運営協議会の設置ならびに委員の委嘱及び任命に関する報告および承認について
		香芝市就学指導委員会委員の委嘱および任命について
		香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告および承認について
		香芝市公民館運営審議会委員の委嘱に関する報告および承認について
5月定例会	5月27日	香芝市学校運営協議会の委員の解任、委嘱および任命に関する報告および承認について
		香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告ならびに承認について
		香芝市教科用図書選定委員の任命について
		香芝市教育委員会事務局の職員の職の設置に関する規則の一部を改正することについて
		香芝市いじめ・不登校等対応委員会委員の解任および任命に関する報告および承認について
6月定例会	6月23日	香芝市社会教育委員の委嘱に関する報告および承認について
		学校運営協議会委員の解任および委嘱について
		香芝市スポーツ推進委員の委嘱について
		香芝市生涯学習推進基本計画策定委員会委員の委嘱について
		香芝市教育委員会委員指定管理者選定委員会委員の委嘱について
		香芝市の文化活動の推進に関する基本的な方針について
7月定例会	7月28日	令和4年度使用教科用図書の採択について
		香芝市生涯学習推進基本計画策定委員会委員の委嘱について
		香芝市文化財保護審議会委員の委嘱について
		香芝市立認定こども園条例の一部を改正することについて
8月定例会	8月26日	香芝市生涯学習推進基本計画作成委員会への諮問に関する報告および承認について
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告および承認について
		香芝市立幼稚園規則の一部を改正することについて
9月定例会	9月29日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告および承認について
		令和3年度香芝市教育委員会事務局職員の人事について
10月定例会	10月28日	教育財産の取得に係る申出に関する報告および承認について
		香芝市教育委員会指定管理者選定委員会委員の解嘱に関する報告および承認について
		香芝市立幼稚園規則および香芝市立預かり保育条例施行規則の一部を改正することについて
		香芝市認定こども園条例施行規則の一部を改正することについて
11月臨時会	11月19日	市長と教育委員会との地方自治法第180条の2の規定に基づく協議について
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取について

区 分	開催月日	案件
1 1 月定例会	11月26日	香芝市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告および承認について
		令和3年度香芝市の教育に関する事務の管理および執行の点検および評価報告書について
1 2 月定例会	12月22日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について
1 月定例会	1月26日	令和3年度香芝市教育委員会表彰被表彰者の決定について
2 月定例会	2月24日	香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について
		令和3年度香芝市教育委員会表彰被表彰者決定について
3 月臨時会	3月10日	香芝市学校施設等長寿命化計画の見直しについて
		五位堂小学校におけるコンクリート強度の調査について
3 月定例会	3月30日	令和4年度香芝市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		学校教育法施行細則等の一部を改正することについて
		香芝市学校給食費徴収規則の一部を改正することについて
		香芝市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正することについて
		香芝市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正することについて
		香芝市議会議案の作成に伴う意見の聴取に関する報告及び承認について
		香芝市教育委員会公印規程の一部を改正することについて
		令和4年度香芝市教育委員会事務局職員、幼稚園教職員及び用務員の人事について
		令和4年度認定こども園職員の人事について
		令和4年度学校産業医の委嘱について

(4) 児童・生徒・園児数一覧

(令和4年5月1日現在)

小学校	平成30年		平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		前年比	
	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数
五位堂	16	436	15	430	15	437	15	420	16	430	1	10
下田	24	759	24	759	24	759	24	726	24	718	0	-8
二上	25	807	24	771	23	756	23	715	22	656	-1	-59
志都美	11	299	10	267	9	270	8	248	10	249	2	1
関屋	13	422	13	423	12	413	12	394	12	390	0	-4
三和	14	446	13	440	14	447	16	430	17	454	1	24
鎌田	9	221	9	228	7	216	7	201	7	203	0	2
真美ヶ丘東	17	520	16	507	16	499	16	437	16	439	0	2
真美ヶ丘西	13	399	14	419	15	425	15	421	15	420	0	-1
旭ヶ丘	28	939	27	887	26	821	24	708	23	653	-1	-55
計	170	5,248	165	5,131	161	5,043	160	4,700	162	4,612	2	-88

中学校	平成30年		平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		前年比	
	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数
香芝	16	609	17	634	18	674	18	652	18	656	0	4
香芝西	15	529	15	542	15	541	15	523	15	527	0	4
香芝東	18	671	17	637	17	613	17	595	17	608	0	13
香芝北	20	726	19	705	19	672	18	624	16	566	-2	-58
計	69	2,535	68	2,518	69	2,500	68	2,394	66	2,357	-2	-37

幼稚園	平成30年		平成31年		令和2年		令和3年		令和4年		前年比	
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数
五位堂	2	46	2	50	2	44	2	32	2	26	0	-6
下田	6	155	6	152	6	130	6	119	6	109	0	-10
二上	4	87	2	60	2	47	2	36	2	36	0	0
志都美	2	18	2	24	2	21	1	7	0	0	-1	-7
関屋	3	63	3	61	3	46	3	38	3	23	0	-15
三和	2	50	4	84	4	89	4	83	4	81	0	-2
鎌田	3	73	3	68	3	65	3	65	3	50	0	-15
真美ヶ丘東	7	159	7	162	6	141	6	131	7	133	1	2
旭ヶ丘	6	132	6	132	6	101	4	85	3	70	-1	-15
計	35	783	35	793	34	684	31	596	30	528	-1	-68